

綿 スフ 織物情報

2022年(令和4年) 6月号 Vol. 1875

発行所: 一般財団法人 日本綿スフ機業同交会
東京都港区西麻布 1-8-7 綿工連会館 2F
TEL(03)3403-9671 FAX(03)3403-9679
URL: <https://www.jcwa.jp>

主 な 内 容

綿スフ工連・綿工連の通常総会及び同交会の理事会・評議員会開催／綿工連綿's 倶楽部委員会開催／綿工連綿's 倶楽部「全国交流会」開催／「JFW Premium Textile Japan 2023S/S」出展／142回繊維通商問題委員会開催／経産省「繊維ビジョン」、「繊維技術ロードマップ」策定／経産省「ファッションの未来に関する報告書」取り纏め／「デジタルツールを活用した海外需要拡大事業費補助金」公募中／主な補助金の公募スケジュール／令和4年度補正予算案成立／「令和3年度ものづくり基盤技術の振興施策」(2022年版ものづくり白書)取り纏め／綿工連産地・企業の新聞記事一覧(2022年5月)／特許公開情報

●綿スフ工連・綿工連の通常総会及び同交会の理事会・評議員会開催

5月24日(火)、綿スフ工連・綿工連の通常総会及び一般財団法人日本綿スフ機業同交会(同交会)の理事会・評議員会が名古屋市内において開催された。

綿スフ工連及び綿工連の通常総会では、(1)2団体の2021年度決算関係書類及び事業報告書について、(2)2団体の2022年度事業計画(案)、収支予算(案)等は原案通り承認され、(3)任期満了に伴う役員の変更・選任(2団体)については、一部理事を除いて原則留任となった。

また、同交会では、(1)理事会・評議員会において2021年度決算関係書類及び事業報告書承認の件について承認された後、評議員会において任期満了に伴う理事の変更・選任が行われ全員留任となった。

綿スフ工連・綿工連の総会および同交会評議員会において新たに選任された理事で構成された各々の理事会において代表者を選任し、各団体とも平松誠治氏を再任した。

●綿工連綿's 倶楽部委員会開催

5月14日(土)、大阪綿業会館において今年度第1回の綿工連綿's 倶楽部委員会が開催され、一部リモートを含め全委員が出席した。2年に一度の委員長改選で笹田委員長を再任、加藤(天龍社)、飯田(泉州)両副委員長は留任となった。

新型コロナウイルス感染により昨年、一昨年と中止を余儀なくされた全国交流会は早期実施を検討し、6月25日(土)に京都での開催が決まった。コロナ終息を見据え、未来に向けて産地を超えた意見交換・情報交換を行う。

●綿工連綿's 倶楽部「全国交流会」開催

前記のように、綿工連綿's 倶楽部主催の全国交流会は6月25日(土)に京都市内で開催。昭和39年岡山県で開催された第1回から通算56回目となる。3年ぶりの全国交流会では意見交換や情報交換の場を設け、産地間交流を行う。

●「JFW Premium Textile Japan 2023S/S」出展

5月25日(水)～26日(木)の2日間、東京国際フォーラムで「JFW Premium Textile Japan 2023S/S」開催され、綿工連産地から古橋織布(遠州)とカイハラ(広島)が出展した。

●第142回繊維通商問題委員会開催

5月18日(金)、織産連の第142回繊維通商問題委員会がオンラインで開催された。議題は、(1)日本の繊維貿易の現況について(2022年1～3月期・2022年3月)、(2)各国とのEPA交渉状況について。

1. 輸出入全般の動向

2022年1～3月期の繊維貿易

	円ベース		ドルベース	
	百万円	前年同期比(%)	百万ドル	前年同期比(%)
輸出	222,734	115.6	1,914	105.4
輸入	1,017,944	107.5	8,758	97.9

① 2022年3月単月に関しては、輸出は円ベースで85,959百万円(前年同月比112.3%、輸入は円ベースで366,783百万円(前年同月比111.6%)。

②2022年1～3月累計の繊維品別輸出入実績に関しては、輸出(円ベース)の前年同期比は繊維原料は127.9%、糸類(紡績糸・合繊糸)は111.5%で、うち綿糸は133.2%、毛糸は72.9%、合繊糸は120.0%。織物は120.7%で、うち綿織物は126.8%、毛織物は149.6%、合繊織物は120.7%。二次製品は111.7%。
輸入(円ベース)の前年同期比は繊維原料は158.2%、糸類(紡績糸・合繊糸)は143.6%でうち綿糸は153.3%、毛糸は176.5%、合繊糸は133.5%。織物は132.9%、うち綿織物は112.8%、毛織物は170.4%、合繊織物は146.1%。二次製品は105.0%。

2. 各国・地域別輸出入の動向

○輸出(2022年1～3月累計)

I 2022年1～3月の前年同期比(円ベース)は、東南アジア(中国含む)向けは109.3%、欧州136.5%、米州129.1%。



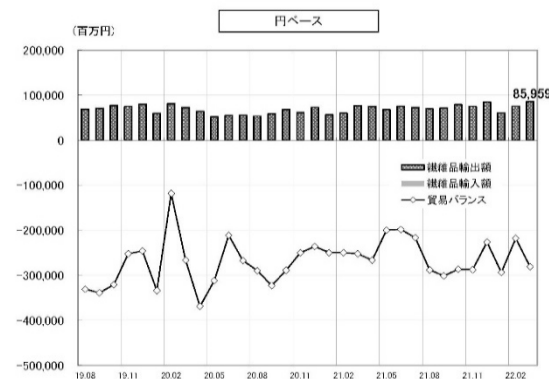
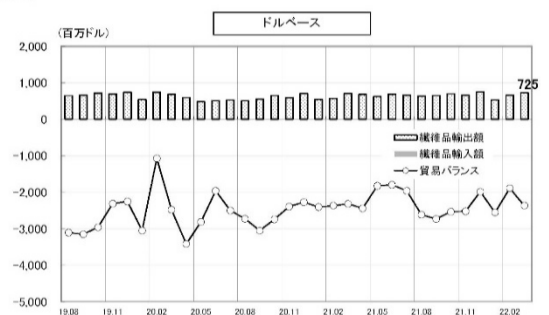
- II 中国が110.4%。シェアは25.0%(前年同期比-1.1ポイント)で、金額では前年同期を上回るもののシェアは微減。
- III アセアンは前年同期比で103.6%。シェアは22.2%(前年同期比-2.5ポイント)で輸出額増のシェア微減。
- IV 前年同月比100%以上は、タイ、マレーシアを除く東南アジア諸国、西アジア、欧州諸国、米国、アフリカ、大洋州。世界計では115.6%で回復傾向がみられる。
- VI 1~3月は全体が増加している中、タイは90.9%(前年同期比-1.0ポイント)と落ち込みが大きい。

○輸入(2022年1-3月累計)

- I 2022年1-3月累計の前年同期比(円ベース)は、東南アジア(中国含む)が107.2%、欧州110.3%、米州122.0%。
- II 中国が110.5%、シェアは55.2%(前年同期比+1.5ポイント)と輸入額、シェア共に増加傾向にある。
- III アセアンは98.5%、シェアが55.2%(前年同期比-2.6ポイント)と輸入額、シェア共に減。
- IV 前年同期比でみると、マレーシアが48.4%と大きく落ち込んでいるものの、中国を含む東南アジア、西アジア、米州、欧州他各地域で増加傾向となっており、世界計は107.5%と増加した。

輸出入動向

年月	繊維品輸出額		繊維品輸入額		貿易バランス		変動率
	百万ドル	百万円	百万ドル	百万円	百万ドル	百万円	
19.08	648.6	68,922	3,760.5	399,630	-3,111.9	-330,708	106.27
19.09	660.0	70,887	3,813.9	409,654	-3,153.9	-338,767	107.41
19.10	713.6	77,150	3,679.2	397,799	-2,965.7	-320,649	108.12
19.11	689.4	75,046	3,005.3	327,159	-2,315.9	-252,113	109.86
19.12	734.1	80,145	2,987.2	326,144	-2,253.1	-245,999	109.18
20.01	541.2	59,178	3,594.3	393,002	-3,053.1	-333,824	109.34
20.02	738.6	81,221	1,813.7	199,433	-1,075.0	-118,212	109.96
20.03	676.4	72,576	3,159.1	338,942	-2,482.7	-266,366	107.29
20.04	593.6	64,062	4,012.2	433,037	-3,418.7	-368,975	107.93
20.05	482.8	51,813	3,295.7	363,666	-2,812.9	-311,853	107.31
20.06	509.5	54,804	2,473.7	266,068	-1,964.2	-211,264	107.56
20.07	524.1	55,962	3,028.7	323,409	-2,504.7	-267,447	106.78
20.08	503.4	53,376	3,234.2	342,957	-2,730.9	-289,581	106.04
20.09	553.8	58,563	3,606.1	381,313	-3,052.3	-322,750	105.74
20.10	648.7	68,266	3,394.0	357,179	-2,745.3	-288,913	105.24
20.11	589.4	61,537	2,984.1	311,538	-2,394.6	-250,001	104.40
20.12	703.1	72,991	2,977.5	309,129	-2,274.5	-236,138	103.82
21.01	541.3	56,134	2,948.4	305,745	-2,407.0	-249,611	103.70
21.02	569.6	60,011	2,939.1	309,666	-2,369.6	-249,655	105.36
21.03	704.6	76,560	3,023.9	328,550	-2,319.3	-251,990	108.65
21.04	681.9	74,414	3,124.1	340,930	-2,442.2	-266,516	109.13
21.05	621.2	67,829	2,449.6	267,468	-1,828.4	-199,639	109.19
21.06	683.5	75,259	2,483.7	273,478	-1,800.2	-198,219	110.11
21.07	658.6	72,638	2,621.9	289,169	-1,963.3	-216,531	110.29
21.08	634.1	69,653	3,256.3	357,672	-2,622.2	-288,019	109.84
21.09	651.6	71,781	3,384.6	372,877	-2,733.0	-301,096	110.17
21.10	695.6	78,676	3,231.2	365,451	-2,535.6	-286,775	113.10
21.11	656.8	74,966	3,177.8	362,676	-2,520.9	-287,710	114.13
21.12	742.0	84,493	2,729.8	310,847	-1,987.8	-226,354	113.87
22.01	531.5	61,032	3,089.5	354,767	-2,558.0	-293,735	114.83
22.02	657.5	75,743	2,548.1	293,542	-1,890.6	-217,799	115.20
22.03	725.3	85,959	3,095.0	366,783	-2,369.6	-280,824	118.51
22.01-03	1,914.3	222,734	8,757.4	1,017,944	-6,843.0	-795,210	
前年同期比	1,815.5	192,705	8,911.4	943,961	-7,096	-751,256	
前年同期比	98.8	30.029	-154.1	73.983	252.8	-43.954	
前年同期比	105.4%	115.6%	98.3%	107.8%	96.4%	105.9%	





繊維品輸出総括表3月実績、1-3月対比

Table with columns: 品目, 単位, 2021年1~3月 (数量, 千ドル, 百万円), 2022年1~3月 (数量, 千ドル, 百万円), 前年同期比(%), 2022年3月 (数量, 千ドル, 百万円), 前年同月比(%). Rows include 繊維原料, 糸類, 織物類, 二次製品, and 総計.

(注)1. 「繊維品」の範囲は統計分類1404.20,4015,4203,4303,4304,50~63(EX,5604),65,7019,12,7019,19200,7019,19900,7019,40~59である。
2. 糸類には人造繊維の長繊維糸(小売用)(5406.00-000)を含む。

繊維品輸入総括表3月実績、1-3月対比

Table with columns: 品目, 単位, 2021年1~3月 (数量, 千ドル, 百万円), 2022年1~3月 (数量, 千ドル, 百万円), 前年同期比(%), 2022年3月 (数量, 千ドル, 百万円), 前年同月比(%). Rows include 繊維原料, 糸類, 織物類, 二次製品, and 総計.

(注) 1. 「繊維品」の範囲は統計分類1404.20,4015,4203,4303,4304,50~63(EX,5604),65,7019,12,7019,19090,7019,40~59である。
2. 糸類には人造繊維の長繊維糸(小売用)(5406.00)を含む。



●経産省「繊維ビジョン」、「繊維技術ロードマップ」策定

5月18日、経産省にて「繊維ビジョン」と「繊維産業ロードマップ」、2種の報告書が公表された。

○「繊維ビジョン」(2030年に向けた繊維産業の展望)

昨年11月、産業構造審議会に繊維産業小委員会を設置、6回の議論・検討を経て産業としての進むべき方向性や今後の政策を取りまとめた報告書を策定した。3つの戦略分野と2つの横断分野で構成される報告書の戦略分野Iでは、繊維産地間の連携が重点ポイントとして明示されている。「繊維ビジョン」の策定は2007年以来、15年ぶりとなる。

戦略分野I 新たなビジネスモデルの創造

1. ファッション・ビジネス・フォーラムを通じた好循環の創出
2. 繊維産地間の連携
3. 事業継承等の促進

戦略分野II 海外展開による新たな市場獲得

1. 海外展開に向けた体制構築
2. 海外展開支援ツールの周知
3. EPA等の普及・啓発

戦略分野III 技術開発による市場創出

1. 繊維技術ロードマップの着実な実施
2. 標準化の戦略的な活用

横断分野I サステナビリティの推進

1. 資源循環の取組強化
2. 責任あるサプライチェーン管理の促進

横断分野II デジタル化の加速

1. ファッション・ビジネス・フォーラムの開催
2. ビジネスモデルの転換支援

繊維ビジョン概要資料

https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/seizo_sangyo/textile_industry/pdf/20220518_2.pdf

繊維ビジョン

https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/seizo_sangyo/textile_industry/pdf/20220518_1.pdf



○「繊維技術ロードマップ」

「繊維ビジョン」の「戦略分野 III 技術開発による市場創出」に掲げられた「繊維技術ロードマップ」は、未来の産業につながる繊維技術の創出、繊維産業の国際的な競争力維持の観点から繊維技術の戦略や工程について事例紹介を交えて取り纏められている。

①重点的に取り組むべき技術開発

a) スマートテキスタイル

スマートテキスタイルの社会実装のための技術・サービス開発を行う。また、官民の連携を図り、デジタルものづくり支援を展開する。

b) ヒューマンインターフェース

物性データ等をデータベース化し、風合いや心地よさのシミュレーション手法を開発する。また、EC(電子商取引)等における表示方法の確立を目指す。

c) 繊維to繊維リサイクル

サプライチェーン全体が参画する検討会を設け、リサイクルの実現を目指す。技術開発の手順や体制を構築し、分別技術やリサイクル技術の開発を促進する。

②技術開発手法

a) サステナビリティへの対応やデジタル技術の導入など技術開発手法を提示。

b) 事業化に向け、製品ニーズ主導の製品開発や産学官及び異業種との連携方法等を提示。

③研究開発機関の紹介

a) 信州大学、福井大学、京都工芸繊維大学や産総研をはじめとする国立研究機関、地方公設研究機関について活動状況を紹介。

b) 特に地方公設研究機関では事業者等が活用できる評価試験を掲載。

繊維技術ロードマップ

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/textile_technology/pdf/20220518_1.pdf



●経産省「ファッションの未来に関する報告書」取り纏め

5月2日、経産省はファッションの領域において国内外で生じている数々の変化の兆候を捉えながら、拡大する海外需要を獲得していくために必要な方策を検討するため、昨年11月に「これからのファッションを考える研究会 ～ファッション未来研究会～」を設置、5回の議論を経て、今般、報告書を取り纏めた。

「人と自然に調和的なファッション」、「テクノロジーで変わるファッション」、「新たな価値を生み出すファッション」という3つの視点から望ましいと考えられるファッションの未来を描くために重要な事項を「10のキーワード」として集約した。

1. 需給ギャップを縮小させるビジネスモデル
2. 良いモノを長く楽しむファッション文化
3. 循環システムの構築
4. 質のないデジタルファッション
5. 創造性の発揮を支援するテクノロジーの台頭
6. 創造社会の新しい市場ルール



7. ラグジュアリー概念のアップデート
8. これからの海外需要獲得
9. ビジネスで留意すべきファッションロー
10. ファッションの未来に求められる人材

ファッションの未来に関する報告書

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/fashion_future/pdf/20220428_1.pdf



●「デジタルツールを活用した海外需要拡大事業費補助金」公募中

経産省は令和3年度補正予算事業「デジタルツールを活用した海外需要拡大事業費補助金」の公募を開始した。優れたコンセプトや魅力的な地域資源を保有している中小企業者等がコロナ禍で変化する海外需要を獲得できるよう、越境EC(電子商取引)を積極的に取り入れたブランディングやプロモーション等の取組を支援する。a) デジタルツール活用型と、b) トップクリエイター活用型の2タイプあり、補助金額はどちらも上限500万円、下限200万、補助率2/3。

a) デジタルツール活用型

中小企業庁が選定した支援パートナーとともに取り組むことが要件。

申請締切 6月30日(木)15時

特設ページ <https://digital-tool.jp/>



b) トップクリエイター活用型

中小企業庁が選定したクリエイティブパートナーと協業することが要件。

申請締切 6月20日(月)15時

特設ページ <https://top-creator.jp/>



●主な補助金の公募スケジュール

a) 中小企業等事業再構築補助金

第6回申請締切: 6月30日(木)18時 (3月28日公募開始)

第7回: 7月頃公募開始予定

第8回: 10月頃公募開始予定



b) ものづくり補助金[一般型・グローバル展開型]

第11次申請: 5月26日(木)~8月18日(木) (5月12日公募開始)



c) 小規模事業者持続化補助金

第9回受付締切: 9月中旬予定

第10回受付締切: 12月上旬予定

第11回受付締切: 2023年2月下旬予定

商工会連合会地区



商工会議所地区



d-1)IT導入補助金(通常枠)

3次締切: 7月11日(月)予定

4次締切: 8月8日(月)予定



d-2)IT導入補助金(デジタル化基盤導入枠)

5次締切: 6月27日(月)予定

6次締切: 7月11日(月)予定

7次締切: 7月25日(月)予定

8次締切: 8月8日(月)予定



d-3)IT導入補助金(セキュリティ対策推進枠)

申請受付開始: 8月頃予定 (5月31日公募開始)



※新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者への支援パンフレット(随時更新)

<https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/pamphlet.pdf>

※業種別支援策リーフレット(製造業向けは 3/18~4/18ページ)

<https://www.meti.go.jp/covid-19/leaflet/leaflet.pdf>**●令和4年度補正予算案成立**

令和4年(2022年)度補正予算案は衆参両院で審議され、5月31日に政府案通り成立した。一般会計の歳出総額は2兆7,009億円。ロシアによるウクライナ侵攻などに伴う物価高を受けた「総合緊急対策」の財源の裏付けとなる。

●「令和3年度ものづくり基盤技術の振興施策」(2022年版ものづくり白書)取り纏め

5月31日に「令和3年度ものづくり基盤技術の振興施策」(2022年版ものづくり白書)が閣議決定された。政府がものづくり基盤技術の振興に関して講じた施策に関する報告書で、経済産業省、厚生労働省、文部科学省の3省が共同で作成。

2022年版ものづくり白書では、我が国製造業の業況や設備投資、人材確保・育成及び教育・研究開発などについて足下の動向や企業が収益を上げていくための稼ぐ力について分析し、カーボンニュートラルの実現やDXの推進等の動向や関連事例が紹介されている。



○2022年版ものづくり白書(概要)

<https://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2022/pdf/gaiyo.pdf>



○2022年版ものづくり白書(全体版)

<https://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2022/pdf/all.pdf>



●綿工連産地・企業の新聞記事一覧(2022年5月)

繊維ニュース

- 5月11日 播州織産地博覧会 中止乗り越え3年ぶり開催 産地に活気呼び込む好機
- 5月11日 3月の岡山県織物生産 綿の帆布・厚織などが伸長(岡山県工業協組纏め)
- 5月12日 7月のPVパリ 日本から28社 クロキ出展(備中)
- 5月16日 遠州産地 回復傾向も課題は綿の高騰 「今後はコスト高との戦い」
- 5月18日 PTJ23春夏 独自の生地で勝負! 古橋織布 高密度の綿、麻使い展示 OGでサステ意識(遠州)
- 5月19日 タカヤ商事・ワークウェア事業 主力ブランドで販路拡大 ワークウェアとOEMで相乗効果を(備中)
- 5月20日 綿工連綿's 倶楽部 笹田委員長を再任(奈良)
- 5月20日 MU23秋冬の日本コーナー 「JOB plus」に古橋織布参加(遠州)
- 5月24日 第3回播州織産地博覧会 西脇市街地に活気あふれる 過去最多8千人で賑わう
- 5月25日 播州織工業組合 堀口理事長を再任
- 5月26日 綿工連 平松会長を再任
- 5月27日 PTJ23春夏 織物短繊維ゾーン 古さと新しさが共存 古橋織布(遠州)
- 5月31日 4月の岡山県織物生産 帆布・厚織の生産量増加 全体は6.6%増(岡山県工業協組纏め)

織研新聞

- 5月11日 PV23~24年秋冬 リアル展に多数復帰 日本から28社、クロキ出展(備中)
- 5月11日 杉の和紙糸【KEETIO】 小口で糸売り 和紙の布(大阪南部)が全面協力 徳島の「すぎとやま」
- 5月12日 PTJ23春夏 各社のイチ押し カイハラ 経糸共通カイハラニュース タンドリーデニム「FK/FSSシリーズ」(広島)
- 5月18日 カイハラ、「ローランダー」とデニムウェアを共同開発 パルコのCF「ブースター」(広島)
- 5月20日 ミラノウニカ7月展の日本パビリオン <JOBプラス>に古橋織布(遠州) 出品
- 5月24日 21年度織研賞特別賞 デニムの国際競争力向上、産地活性化貢献 カイハラ元会長貝原良治氏(広島)
- 5月24日 播州織産地で消費者イベント 3年ぶり開催でにぎわい
- 5月27日 『苦境で光る産地企業』カネタ織物 “不可能”を可能にする技術と探求心(天龍社)

●特許公開情報

2022年5月に公開された織物の製造方法に関する、特許公開情報です。

特許電子図書館 HP: <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

検索範囲: 4L048, D03D1/00~D03D27/00

[特許公開情報]

(2022年5月公開分)

<5月分>

項番	文献番号	出願人	発明の名称
1	特開 2022-067557	サカイ・コンポジット(株) 東レ(株)	引抜成形品
2	特開 2022-069190	日本フィルコン(株)	不織布用多層織物
3	特開 2022-069371	日本フィルコン(株)	不織布用織物および搬送ベルト
4	特開 2022-069807	東レ(株)	ポリエステル系繊維構造物、その製造方法 およびコンプレッションインナー衣料
5	特開 2022-070186	(株)ミューファン	消臭機能と抗ウイルス機能、並びに抗菌機能や静電気除電が可能な繊維製品
6	特開 2022-073521	ユニチカ(株) 日本エステル(株) ユニチカトレーディング(株)	芯鞘複合マルチフィラメント糸、異形断面 マルチフィラメント糸、織編物、および衣料
7	特開 2022-073917	(株)カネカ 国立大学法人神戸大学	再生コラーゲン繊維を使用した生地および肌着
8	特開 2022-074889	ダイヤテックス(株)	粘着シート及びその製造方法
9	特開 2022-076361	国立大学法人 東京大学 日本電信電話(株)	形状記憶性ファイバとメッシュ構造物およびそれらの製造方法
10	特開 2022-077399	山本印刷(株) カタニ産業(株)	引箔用シート、引箔及び引箔織物
11	特開 2022-077703	平岡織染(株)	高強度ターポリン及びその基布の回収方法
12	特開 2022-078834	林テレンプ(株) 本田技研工業(株)	車両内装材向けスエード調表皮材
13	特開 2022-080087	ユニチカ(株) 日本エステル(株) ユニチカトレーディング(株)	異形断面ポリエステル繊維
14	特開 2022-081547	ロリアル(フランス)	化粧用品
15	特許 7066156	東陽織物(株)	遮光織物

**5 月 の 行 事**

- 5月14日 …………… 綿工連綿's倶楽部委員会(大阪・綿業会館)
5月18日 …………… 第142回繊維通商問題委員会《オンライン》
5月24日 …………… 綿スフ工連/綿工連通常総会、同交会理事会・評議員会(名古屋)
5月25～26日 …… JFW Premium Textile Japan 2023S/S(東京国際フォーラム)

6 月 以 降 の 行 事

- 6月25日 …………… 第56回綿工連綿's倶楽部全国交流会(京都)

いいものはきもちいい。
——こだわりの品質、ジャパン・コットン。

JAPAN
COTTON



Pure Cotton



綿100%
「ピュア・コットン・マーク」

JAPAN
COTTON



Pure Cotton

綿混率50%以上
「コットン・ブレンド・マーク」

JAPAN
COTTON



Cotton Blend

日本で生まれて日本に育った私たちは、日本人だけに分かる心地よさを知っています。たとえば、春の日溜まりのぬくもり、夏の打ち水の涼しさ、障子からもれる明かり、鈴虫の音色。日本人だからこそ分かる本当の快適さを、しっかりと保証するための印を作りました。

ジャパン・コットン・マーク。日本国内で製造した高品質の綿素材を使用した製品だけに、その優れた品質を保証して添付されます。